

その1 ウサビペイント

その1 ウサビペイント



「やぁ！ウサビ2号だよ！」

川魚が捕り放題ということで、8月2日の溪流祭りに参加してみました。

ウサビは雑食のようです。



さっそく川の入り口へ歩いていくと、ウサヒは何かを発見しました。

(周りの人の無反応はウサヒの存在が当たり前になってきたという証拠です。きっと)



そこには「あとリエマサト」(旧立木小学校を拠点として活動中のアーティストさんたち)の方々がいました。いきなり弄られまくります。

「ギャワー！耳はだめえー！」

普段からウサヒが接する機会が多い年配の方や小さな子どもたちは比較的高身長かつ巨大な頭部を擁するウサヒの耳に手が届くことはあまりないので、耳を弄られたのは初めてかもしれません。

ここでは、川で拾ってきた石を絵の具で染めたり絵を描いたりする「石を染めようイッシッシ」という企画をやっていました。

せっかくなのでウサヒもひとつ作らせていただくことに。



(やべ、顔にちょっとついた)

パーソナルカラーの桃色で染め上げていきます。

乾くまでしばらくかかりそうなので、軒先に石を置かせてもらい…



いざ！

(このとき既に忍び寄る影が隣にいることにウサビは気づいていない…)

つづ。